



各 位

2019年11月1日

上場会社名 アマテイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 戴内 茂行
コード番号 5952 (東証第二部)
問合せ先 取締役経営管理本部長 石野 栄一
(TEL: 06-6411-1236)

2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表しました2020年3月期第2四半期(累計)(2019年4月1日～2019年9月30日)業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	35	30	25	2円12銭
今回修正予想 (B)	2,613	19	13	15	1円28銭
増減額 (B)-(A)	△ 87	△ 16	△ 17	△ 10	
増減率	△ 3.2	△ 45.7	△ 56.7	△ 40.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,601	△ 1	△ 4	△ 17	△1円45銭

2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,100	15	10	0円85銭
今回修正予想 (B)	2,053	0	4	0円42銭
増減額 (B)-(A)	△ 47	△ 15	△ 6	
増減率	△ 2.2	△ 100.0	△ 60.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,038	△ 27	△ 38	△3円26銭

修正の理由

2020年3月期第2四半期(累計)の業績は、建設・梱包向(個別)においては、賃貸住宅の施工不良の発覚や台風・長雨等による工事遅れの影響もあり、新設住宅着工戸数は前年同期に比べ5%落ち込み、売上高は予想を下回りました。利益面でも、輸入商品コストの低減はあったものの、賃貸住宅の着工戸数の落ち込みの影響が大きく、売上に伴う利益は、当初予想より下振れし、経常利益は減益となる見込みであります。四半期純利益は、保有株式の売却に伴う売却益を計上しましたが、減益となる見込みであります。一方、電気・輸送機器向(連結子会社㈱ナテック)は、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向の付加価値の高いライセンス品の需要は順調であり、売上高は幾分減収となるものの、営業利益・経常利益・四半期純利益は、当初の予想どおりとなる見込みであります。

以上の結果、2020年3月期第2四半期(累計)連結業績は、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益において減益となる見込みであります。

2020年3月期通期の連結業績は、建設・梱包向において、第3四半期連結会計期間以降、住宅メーカーが繁忙期に入るため、釘の需要は持ち直し、製造設備の無人化運転による生産性の向上や省人化により製造コストの低減効果が見込めることから、通期業績予想は修正していません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。